

## 下野市生涯学習推進計画（第三次）（案）に関するパブリックコメントの結果について

### 1. パブリックコメントの実施状況

#### (1) ご意見の募集期間

令和3年1月4日（月）～令和3年1月25日（月）

#### (2) ご意見の応募者数及び件数

- ・ 応募者数及び件数 1名、10件
- ・ 男女内訳 男性：2名 女性：0名
- ・ 年代内訳 70歳代：1名、80歳代：1名

#### (3) 提出方法の内訳

郵 送	ファクシミリ	電子メール	持 参	計
—	—	—	2	2

### 2. ご意見の概要と考え方

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	P1 第I章 計画の策定にあたって 1 計画策定の趣旨	1ページだけでも、教育基本法第3条の説明、人生100年時代構想会議からの出典、公益社団法人全国公民館連合会からの出典、誠に心憎い気配りであり、豊富な知識が裏打ちされています。	ご意見ありがとうございます。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
2	P2 第I章 計画の策定にあたって 2 生涯学習とは	2ページのレイアウトも見やすくかつ分かりやすい構成になっています。瓜田瑠梨のアニメの採用も、導入部としては親しみやすさを演出しています。	ご意見ありがとうございます。
3	P3 第I章 計画の策定にあたって 3 近年の世界・国の生涯学習に関する動向	3ページの国連のSDGs、国の教育振興計画、中教審答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」などの記載も、世界動向から我が国の動向への背景説明があり、本計画の根拠が明確になっております。他の計画においては、最新の文部科学白書や中教審答申などを読んでいる形跡のないものが、残念ながら数多く見受けられます。	ご意見ありがとうございます。
4	P7 第II章 下野市の生涯学習をめぐる現状と課題	7ページから記載が始まるアンケートの結果記載ですが、これも説明文とグラフがバランスよく配置されており分かりやすいし、グラフの色調も見やすさが配慮されています。	ご意見ありがとうございます。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
5	P39 生涯学習に関する各課のお知らせなど	39ページのボランティアコーディネーション力検定料助成制度のチラシを掲載にも感謝します。市民に対して受験を促している、これまで市民は10数名が合格していますが、それを促した行政側の合格者が市民より少ないのが気にかかっておりました。 今後、財政が一段と厳しくなりますし、市民の協力を得るケース、ボランティアをお願いするケースも増加することが推測されます。その時、そもそもボランティアとは何かを知らない行政マンですと、適切な対応ができません。市民とともに行政マンも生涯学習の重要性を感じてほしい。そのことを再確認させる意味でも意義ある掲載です。 また、答申の中にも、市民の資格取得に際する助成制度の拡充についても検討されたいと記載されていますが、誠に時機を得た記載事項です。	ご意見ありがとうございます。
6	P7～P11、P12～P23 第Ⅱ章 下野市の生涯学習をめぐる現状と課題 1 下野市の人口世帯等の状況 2 自治会等地域の団体への加入状況 3 下野市生涯学習に関するアンケート調査結果	市の現状やアンケートの概要と分析はしっかりと受け止めて施策に生かしてほしい。	今後の施策に十分に活かしてまいります。
7	P36基本目標Ⅲ 学びを活かす	学習成果を生かす機会は公民館で気軽に個人が発言・発表する場所を設定するべきである。自己実現に繋がる。	市民の自己実現をサポートすることは、生きがいづくりや持続可能な地域コミュニティの形成に欠かせないものと認識しております。 これからも、公民館サークル及び利用団体や地域コミュニティなどが個々に行う自主発表会や一堂に会する公民館まつり、交流会等の開催に際し、積極的に支援していきます。

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
8	P29基本目標Ⅰ 学び場をつくる (5) 高齢者教育	高齢者の生活課題は多岐にわたるので、生涯学習文化課のみならず高齢福祉課や地域包括支援センター、社協などの幅広い意見も取り入れて進めていく必要がある。	本計画は市長を本部長とする全庁的な生涯学習推進本部において推進してまいります。また、本計画に基づく具体的な実施計画については、すべての担当課を通じて全庁横断的に策定、進捗管理を行いますので、今後とも全庁的な推進体制を継続してまいります。
9	P34基本目標Ⅱ 学びを支援する (3) 人材情報の提供	ボランティアバンクの人数を増やし、各公民館に貼りつけるくらいの活動をしたらどうか。 市民協働推進課との連携を密にすること。	ボランティアバンク登録者のみなさまの意見も拝聴しながら、研究してまいります。今後とも連携を密にしてまいります。
10	P3 国の教育振興基本計画	同計画に記載のとおり「社会人の学び直しの推進」は変化の激しい社会において絶対に必要なものである。	「リカレント教育」と呼ばれる社会人の学び直しは、社会的にもその必要性が叫ばれています。本計画においても、その理念はすべての基本目標に通底しております。